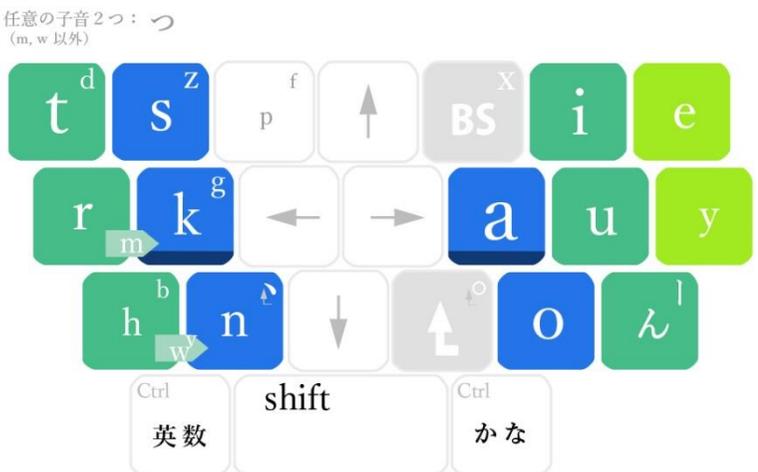


カタナ式 (v7) マニュアル

作 大岡俊彦

カタナ式は、「物語を書く」ための、まったく新しいローマ字配列である。
覚えることはたった3つ。

- 1 スペースキーがシフトキーを兼ねる… 子音を濁音にするなどに使う。
- 2 m、wは子音2つを打つ（rkでm、hnでw。連続押しも同時押しも可）。
- 3 この組み合わせ以外の、任意の子音2つで、1つめが促音になる（「asta」と「akta」が「あった」に）。



特長

- 1 メイン子音6、母音7のわずか13キーで五十音が打てる… 覚えるキーが少なく、ブラインドタッチのマスターが容易。使う指も6本（人差し指と中指の4本、左親指、右薬指）。
- 2 カーソル、エンター、BSキーが中央にあり、指を構えたまま変換や確定が出来る。
- 3 キー配置がアルペジオ打鍵（後述）に配慮しており、流れが滑らか。

フリック並みに簡単に。キーボード並の大量入力を。
日本語は、もっと簡単に打てるべきだ。

※ 縦書き推奨です。横書きで使うと、「**〃**」の挙動がおかしいですが、日本語を打つこと自体は使えます。横書き用、左利き用は近日発表。

1 使いながら覚えよう

まず「最高」と打ってみよう！

初期設定（7ページ）を終えたら、キー配置を見ながら「さいこう」とひらがなで打ってみよう。何回か打ってみよう。「a i」「o u」がタランと快速に打てたことに気づいたろうか？ スペースを押して変換だ。変換候補を選ぼう。もう右手を遠くにのばす必要はない！ 右手と左手の間にカーソルキーがあるのだ！ 同じくすぐそばのエンターで確定！ 間違えたら、すぐそばのBSで修正！ 右手の人差し指で、エンターもBSもいける！

最高。最高。最高。

ちなみにシフト（スペース押しながら）エンターで「+確定」だ。いちいちエンターを押さずに、「句読点を打つことが確定代わりになる」体験をしよう。

三回ぐらい「最高。」と打てば、カタナ式の速さ、楽さを実感できるぞ！

解説しよう。

カタナ式は、「左右交互打鍵方式」である。左手に子音、右手に母音が分離されている。ローマ字はほとんどが子音+母音の組み合わせなので、左手↓右手↓左手…と交互に打つと、「一方の手が打つ間に、次の手が準備する」ためロスが少ない。慣れてくると、子音と母音はほぼ一瞬しかずれない、「同時打ち」に近くなってくる。「ひらがな一文字を、両手で一回で打つ」感覚だ。

これに加えて、「a i」「o u」の速さを実感したかと思う。日本語の頻出二重母音は「ou (you)」「ei」「ai」だが、これのどれも速くなるように母音を配置してある。これを「二重母音のアルペジオ」という（アルペジオとは、隣り合ったキーを隣り合った指でタランと打つ、速い打鍵法のこと）。

復習しよう。つぎの言葉を打ちながら、キー配置に慣れていこう！

回想	体操	あいうえお	おいえうあ	えおあうい	よう	ゆう	あん	
成功	象徴	解消	最強	宗教	吸収	最終	共通	可能性

濁音を打ってみよう！

シフトキーまたはスペースキー押しっぱなしで、k s t hがg z d bに。

だが だがしかし ぼくら そんな馬鹿な ぞっとした
続々 行動 情熱的 (「じょ」は「zyo」で打った方が右手の動きが統一できる)
情熱的な行動

シフト「ん」に長音「ー」があるので、活用されたい。

シート コート ソート キャッチャー (「ちゃ」も同様に「t ya」で)

シフトnで「+確定」も活用されたい。

そこで、こうなのだ。これで、大体の日本語は打てるのです。

mとw

mとwは、出現率が最も低い2子音である(2.5%, 2.1%)。これを特殊な打ち方(rkでm、hnでw)にすることで、「メイン子音キーを6におさめ、人差し指と中指の二本指だけで子音を打つ」ことに成功した。

順に押しさえすれば間はどれだけ空いても出るようになってるので、最初はゆっくり落ち着いて打つとよい。おすすめはアルペジオでタラツと打つこと。慣れたら一個の子音のように打てるようになる。同時打鍵でも出る。

もうこれで、おしまい。 コーヒーを。

まみむめも わいわい わっしょい 我々 わをん

迷子の眼医者 回り道

促音拡張 (アルペジオ促音)

任意の子音ふたつで、最初の子音が促音「っ」に。(ただしrkとhnは例外でmw)

【おすすめ】 stで「っt」 tsで「っs」 tkで「っk」

と、アルペジオで促音が打てる。二連打より速い。

「あった」は「asta」でも「akta」でも「atta (リフォルト)」でも。

以上でもう基本的な文章作成は可能だ！ 打ちながら各キーの場所を覚えていこう。次

章に練習問題があるぞ！ 記号と特殊外来音は、このあとすぐ。

カタナ式のブラインドタッチは、おそらくすぐできるようになる。速い人なら一日で、ゆっくりやっても一週間でマスターできるだろう。

高速打鍵（秒3打以上）できるようになってきたら、高速打鍵対応バージョン「高速カタナ式」に乗り換えよう。高速対応で腱鞘炎対策をほどこしてあるぞ。

半濁音・外来音

半濁音 p と外来音 f をまとめてマイナー子音（七番目の子音キー）とした。

v と x は、それぞれシフト w（シフトを押しながら h n）、シフト BS にある。

ぱびぷ。へぼ ふあふいふふえふお 心配 フォーク ヴィクトリー あいうえお

以下に特殊な外来音をまとめておく。万が一わからなくても、文字＋「x＋あいうえおやゆよつわ」で入力可能なことは覚えておこう。

もともとデフォルトで設定されているもの：

ファ フィ フ フェ フォ fa fi fu fe fo

ヴァ ヴィ ヴ ヴェ ヴォ va vi vu ve vo

ウィ ウェ ウォ wi we uxo ※ wo は「を」のため

ツァ ツィ ts が促音拡張のため tsa tsi は不可。tuxa tuxi じ。

カタナ式独自設定（初期設定の項参照）：

ティ tyi txi ※ デフォ t~~hi~~も可。

ディ dyi dxi ※ デフォ d~~hi~~も可。

トウ txu ※ デフォ t~~wu~~も可。

ドゥ dxu ※ デフォ d~~wu~~も可。

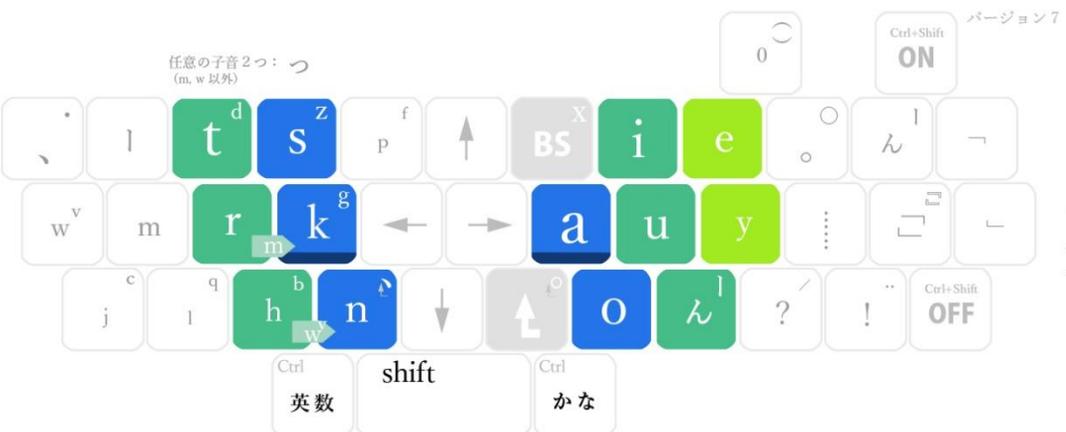
デュ dyu ※ 滅多に出ない「ぢゅ」は dixyu じ。

ウォ wyo wxo ※ デフォ w~~ho~~ uxo も可。

ティーカップ デイレクター プロデュース トウルーロマンス ウォーキング

カタナ式

作 大岡俊彦



カタナ式は「物語を書くための配列」として開発された。脚本や小説を主な用途に想定している。よく使う記号が使いやすい位置にあるので、活用されたい。キーボード中央部以外のあまっている外側に、記号、mとwの単打などを配置した(ちなみにカタナ式v5と同じ)。

以下に独自記号を示す。

- 「」 「カギ括弧開く、閉じる、一文字戻る」を1キーで(シフトで『』)
- 〇 「まる括弧開く、閉じる、一文字戻る」を1キーで
- … 三点リーダー二文字(いわゆる「無言の台詞」を示すのは、出版では三点リーダー二文字が一単位と定められている)
- | 同様に、引用などを示すダツシユ記号も二文字一組と定められている。これは長音「ー」を二文字打って変換すると出てくる脚本におけるシーン先頭記号。「まる」でも出る。

ちなみに英語はどうやって打つの？

半角アルファベットは、英数／かなで、英語／日本語を切り替えていただきたい。

英語はもとの QWERTY 配列になるように初期設定してある。

また、コントロールを押している間も QWERTY に戻るように初期設定。Ctrl+z などは元のキーバインドのまま行える。

2 カタナ式練習問題

熟語シリーズ

最高 回想 体操 成功 永遠 性質 交通 堂々 早々
象徴 強調 最強 宗教 吸収 最終 収集 当然 共通 少々 可能性
一発 心配 疾病

基本的なことばシリーズ

する した それ これ から ない です ます ある いる しか もう
それから これから それと だから すると
かっぱす それとも 知らない そんなことない できない ありえない
思う 思うこと 思います 思わない られる られない したくない
きみ あなた ぼく おれ わたし われわれ 彼 彼女
だがしかし さらに それとも いられる 見る 見られる
誰 どれ だろう だとすると 行こう 走ろうぜ
あいしてる だいすき ありがとう おはよう さよなら

解説

母音をぬいて子音だけ並べると、左手のつらなりが多くアルペジオになっている。「頻出子音の二連接のアルペジオ」だ。カタナ式では右手も左手もアルペジオが頻出するのである。

m w練習シリーズ

構わない 回り道 困った我々を まったく見えない 和歌山 もっともっと
もろもろ わなわな 目まぐるしく変わってゆく 相まみえる魂

外来語シリーズ

ファクトリー フォーマル フィールド パフォーマンクス パラダイス
プロフィール プログラム パーマネント ペットシヨップ
ウォーマー フィッティング セヴンティーン デイスる プラクティス

3 インストールと初期設定

カタナ式は、Windows 専用の DvorakJ (フリーウェア) 上でうごく、日本語入力システムです。Mac のみならんごめんさい (Karabiner 使いの方求む！)。

縦書き用です (このまま横書きで使っても) (○キーの挙動以外は使えます)。横書き用、左利き用は近日登場。

1 DvorakJ カタナ式をダウンロード

DvorakJ: blechmusik.xii.jp/dvorakj からダウンロード。

カタナ式: ookawoks.seesane/article/447064175.html

ブログ「大岡俊彦の作品置き場」から、以下のものをダウンロード。

カタナ式 v7.txt

てんぐ探偵人物表.txt (これは人物表のテンプレなので、自由に書き換えてOK)

DvorakJ はキー配列が変更できる Windows のフリーウェア。レジストリを変更しないため、フォルダごとUSBにコピーして持ち歩けば共用パソコンでも使える便利ソフト。コピーしたフォルダを削除すれば元通りに。

デスクトップかcドライブの中にトップフォルダを置く (設定が終わってからUSBにコピーすれば、設定ごとコピーされる)。dvorakj.exe をダブルクリックすると立ち上がり、設定画面も兼ねる。

カタナ式のファイル群を user フォルダ内に置き、以下の設定をしよう。

2 DvorakJ の設定

キーボード

入力全般

Sands なび

待機と遅延

「Sands: [Space]と[Shift]の機能も担わせる」……オン

日本語入力……0ミリ秒

キーを発行させるのに遅延する時間……3〜10ミリ秒

(使用環境によって異なります)

IME 関連 「IME の状態の変更 (直接入力と日本語入力の切り替え)」

……全部オフ

修飾キー関連

「修飾キーを押し下げている場合に QWERTY 配列を使用する」
Ctrl Alt Win……全部オン

直接入力

(とくになし)。Dvorak と Colemak にしたい人はデフォルトにあるよ)

日本語入力

設定ファイル……user の中から「カタナ式 v7.txt」を選ぶ

「日本語入力の設定／日本語入力配列を日本語入力時のみ使用する」……オン

「[Shift]+[文字]のとき／未設定のときには何も発行しない」……オン

単一キー

〔無変換〕など

〔無変換〕 直接入力時 …… 「直接入力にする」

日本語入力時 …… 「直接入力にする」

〔変換〕 直接入力時 …… 「日本語入力にする」

日本語入力時 …… 「日本語入力にする」

〔かな〕 直接入力時 …… 「変換」

日本語入力時 …… 「変換」

ファンクションキー 「独自のファンクションキー」……オン

user の中から「てんぐ探偵人物表.txt」を選ぶ。

これは自由に書き換えて使ってよい。

f10 キーを押すと「シンイチ」など、固有名を登録。

たとえば、作品ごとに登場人物表や固有名詞表をつくっておき、執筆の都度切り替えて使うなどすれば、長編を書くときに楽だ。

ファンクションキーを普通に使いたい人は、オフのまままで構わない。

その他

起動時の設定 ログオン時に Dvorak を起動する……オン

ホットキー Dvorak 起動時に設定画面を最小化する……オン

ホットキー Dvorak 用のホットキーを有効にする……オン

実行を停止する C- (全て半角。大文字 C、ハイフン、アンダースコア)

実行を再開する C- (同、半角ニヨロ)

3 MS-IME の設定

一部の外来音のローマ字テーブルを登録する。
日本語変換に ATOK や Google 日本語入力を使っている人もいるかも知れないが、ほとんどの人はデフォルトの MS-IME だろう。以下、MS-IME での登録の仕方。その他の方はその IME 内で定義してほしい。

MS-IME のプロパティ (右下のアイコンを右クリック)

↓ 詳細設定 ↓ 全般、編集操作の変更をクリック (変更した時点でユーザー定義のファイルに置き換わる。デフォルトに戻すことも可能)

↓ ローマ字設定

以下のものを追加、変更。

てい	tyi	txi	※ デフォの「tyi = ちい」は削除。
ぢい	dji	dxi	※ デフォの「dji = ぢい」は削除。
とじ	txu		
とじ	dxu		
ぢゆ	dju		※ デフォの「dju = ぢゆ」は削除。
じお	wyo	wxo	

DvorakJ のロマンズ早見表

カタナ式の開始……ログインで立ち上がるように設定
カタナ式を中断、デフォルト (QWERTY) に戻る……Shift+Ctrl+ (アンダースコア)
カタナ式を再開……Shift+Ctrl+ (チルト、じよろ)
カタナ式の終了……DvorakJ のアイコンから終了を選択
カタナ式の再起動……DvorakJ のロマンズから選ぶ。設定変更後や挙動がおかしくなったとき、再起動の必要。

あとがきにかえて

私たちは、よその国のキーボードを借りたまま無理やり母国語をタイプしている。

QWERTY 配列が英語に最適化されたものでないのは百も承知だ。だが、日本語に最適化されていないことだって二百も承知だろう。

私たちはなぜ、母国語をスムーズに打つキーボードを開発しないのか。QWERTYに一回慣れてしまったから？ デファクト・スタンダードだから？ そんなの老害だ。今を何世紀だと思っている。

母国語を簡単に打とう。字を知ってれば誰もが日本語を打てる、そんな当たり前のことを出来るようにしよう。キーボードを新調する必要はない。現行のまま使える。覚えるキ―はわずかに13。左に6、右に7。夢のブライントタッチはすぐそこだ。

五十音を6本の指で。

その名はカタナ式。

我々は、日本語を武器にする。

カタナ式の特徴

- ・ 左右交互打鍵ローマ字配列。左手子音、右手母音。
- ・ わずか13キーで五十音を打つ。メイン子音6（濁音シフトや2つ押しでキー数を減らした）、母音7（y、んを含む）。覚えやすく、ブライントタッチ時は小指、左薬指を使わないから楽で速い。
- ・ 母音だけで見た接続、子音だけで見た接続の、頻出の流れがアルペジオ。
- ・ 中央に矢印キー、エンター、BSキーがあり、ホームポジションのまま入力から修正まで行える。
- ・ 促音を子音二連打だけでなく、子音のアルペジオで打てる（促音アルペジオ）。
- ・ 物語を書くときによく使う記号がある。
- ・ 「カタナ」の由来は、ホームポジションからすぐ打てる和の代表的言葉から。

※ 秒3打以上のブライント高速入力が出来たら、「高速カタナ式」への移行を！